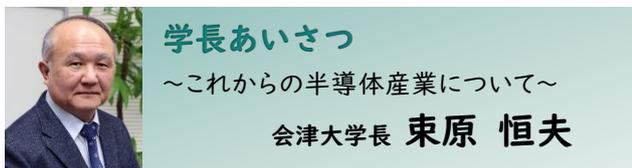
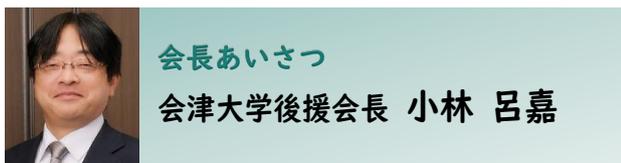


	<h1>会津大学 後援会だより</h1>	第52号 発行：会津大学後援会(事務局学生課) 発行日：2024年8月1日 住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 電話：0242-37-2515 URL： https://u-aizu.ac.jp/
---	--------------------------	--



昨今ニュースを賑わせている日本の半導体産業の変化について、少し述べてみたいと思います。半導体製品は集積回路 (LSI) として、スマートフォン、PC を始めとする電子機器、電化製品、自動車等、あらゆる身の回りの機器に不可欠となっており、“産業のコメ”と呼ばれています。したがって、卒業生の就職先としても、もう一度注目すべき業界だと考えています。

1980年代まで、日本の半導体産業は最大で50%の世界シェアを誇っていましたが、現在では10%を下回るまでに低下しました。主な原因は、半導体産業の分業体制が世界的に広まったことです。それまでは、1社でLSIの設計から製造までを一貫して行う垂直統合型 (IDM) が日本も含めて主流でした。しかし、1980年代後半から、製造のみを受託するファウンドリ (Foundry: 元の意味は鑄造工場) が登場し、工場を持たずにLSI設計のみを行うファブレス (Fabless) 企業との完全分業体制が進みました。このファウンドリの代表格が、台湾を拠点とする TSMC (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company) です。ファブレス企業としては、Qualcomm (スマートフォン用 LSI 等) や NVIDIA (生成 AI 用 LSI 等) が代表的です。TSMC を始めとするファウンドリの顧客であるファブレス企業は世界中に広がっており、自然災害等によりファウンドリでの製造がストップすると、その影響は計り知れません。そこで、TSMC



会津大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会の運営にご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。また、新たにご入学されました新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学誠にありがとうございます。

は製造拠点を台湾以外にも設置すべく、最近、熊本県に工場を新設しました。このような傾向はしばらく続くと思われる。実際、2027年には、同じく台湾のファウンドリ PSMC (Power chip Semiconductor Manufacturing Corporation) が工場を宮城県に新設する予定です。

ファウンドリの顧客は世界中のファブレス企業なので、製造を受託するたびに多くのノウハウが蓄積されていき、次の新たな顧客を呼び込むことが可能になります。このようなビジネスモデルで蓄えた潤沢な資金により、最先端技術の研究開発も行うことができます。2022年度の TSMC 年次報告^[1]によると、全従業員数 73,319 人の中で、専門技術職 (Professionals) が 35,174 人、技術職 (Technicians) が 22,005 人となっています。学歴別で見ると、修士以上の従業員の割合が約 51% で 37,392 人となり、このほとんどが専門技術職に就いて、最先端技術の研究開発に従事していると思われる。ファウンドリは製造工場ですが、顧客と交渉するためには LSI 設計の知識とスキルも不可欠になります。

本学でも、開学当時から半導体の基礎や LSI 設計に関する教育を実施しており、半導体業界も就職先として視野に入れるべきだと考えます。TSMC の例でも分かるように、これからの半導体業界は“徹底した知識集約型”に変貌していくと思われるので、修士課程修了がほぼ必須の条件だと考えます。このような点も考慮に入れて、学部卒業後の進路について、お子様とお話いただきたいと思っています。

[1] <https://investor.tsmc.com/sites/ir/annual-report/2022/2022%20Annual%20Report-E.pdf>

心よりお祝いを申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、大学の各種イベントが徐々にコロナ禍前に戻ってきました。昨年度から入学式や蒼翔祭 (学園祭) をはじめとするイベントで何度か会津大学を訪れておりますが、キャンパスで学生の皆さんの活気を感じることができ、非常にうれしく思っております。

さて、会津大学は平成5年の開学から30年以上が経ち、その間のICTの進展と普及は目覚ましく、今では、日常生活に「なくてはならない」存在となっています。会津大学は開学以来「to Advance Knowledge for Humanity（人類の平和と繁栄に貢献する発見・発明を行うこと）」を建学の基本理念として掲げ、まさに今の時代を見据えて人材を育成してきました。現在では、教職員の皆様をはじめとする関係各位のご尽力の賜物により、研究や教育などは非常に高く評価されており、各種大学ランキングにおいて上位にランクインしています。

会津大学でしっかりと学べば、国際色豊かな教職員の

皆様方と最先端の設備のもと、非常に高度なICTの知識やスキル、さらには実践的な英語力を身につけることができ、皆さんの可能性を大きく広げることとなるものと確信しております。一方で、大学生活は、これまで以上に自主性が大切になります。どうか明確な目標を持ち、失敗を恐れず多くのことに果敢に挑戦していただき、充実した大学生活を過ごされますよう、心から願っております。

最後になりますが、本後援会では、大学と連携しながら、学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるよう様々な支援を行っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

学位記授与式（2023年度）

2024年3月19日(火)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生189名、大学院博士前期課程修了生81名、大学院博士後期課程修了生12名、計282名を代表して、学部卒業生の伊集光世さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰も行われました。

学長賞	加藤 由芽 (学部)
	山岸 駿世 (博士前期課程)
優秀賞	伊集 光世 (学部)
	石井 大智 (学部)
	NGUYEN Ngo Doanh (博士前期課程)
電子情報通信学会東北支部表彰	野原 海輝 (学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	佐久間 陶冶 (学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	中村 善音 (学部)
計測自動制御学会優秀学生賞	鈴木 康太 (学部)
公益財団法人会津地域教育・ 学術振興財団表彰	高野 太智 (学部)
	中村 友里也 (博士前期課程)



学位記の授与、学生食堂において後援会主催の卒業記念パーティーが行われました。学生生活最後となるこのパーティーは、和やかな雰囲気の中で行われ、参加者たちが歓談や記念撮影を楽しんでいました。

入学式について（2024年度）

2024年4月3日(水)、入学式が執り行われました。学部261名、博士前期課程62名、博士後期課程10名、計333名が入学し、新入生を代表して、荒川奈々さんと秋葉場斗さんが宣誓を行いました。

入学式の後は、学部入学生全員での記念撮影を行い、各サークルの観望活動も行われました。



在学生表彰（成績優秀者）

2023年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(*)による成績評価を導入し、学部各学年の上位2～3名を表彰しています。(*Grade Point Average: 大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際にご活用されています。)



学年 (2023年度)	成績優秀者		
学部2年	三原 葵子	中里 紅斗	笛木 アリナ
学部3年	五十嵐 拓	水谷 祐貴	深谷 亮太
学部4年	栗林 世瑠	数又 悠真	小林 凌士

学生の活動紹介 ～サークル自治会執行部～

こんにちは、サークル自治会執行部です。私たちは、会津大学に所属している公認サークルが、日々の活動を円滑に行えるように、またその活動がサークル自治会で定められている規約に反していないかの審査といったサポートなど、各サークルの取り纏めとして日々活動を行っています。

【サークル総会】

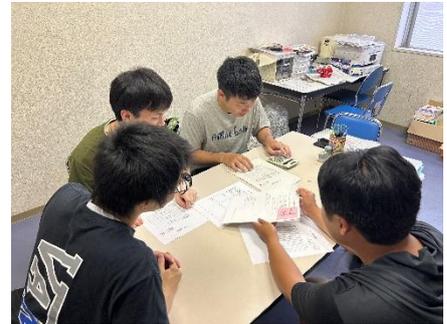
例年、年に2～3回ほど、全公認サークル総会の開催を行っています。これは、全サークルが集まる会議であり、必要な連絡事項などを共有しています。また、各サークルがサークル自治会に対して意見を発言できる重要な場でもあります。

【予算編成】

私たちは、毎年6月～次年度5月分のサークルの活動補助費として、希望するサークルに予算を配分しています。その際、サークル自治会で定められている規約に則り、各サークルに公平になるように予算の配分を行っています。ですが、団体によっては現在定められている規約では配分して良いかどうか判断が難しいものがあり、自治会執行部員の頭を悩ませるものとなっています。また、手続きの関係上、多くの書類を扱います。それらの管理なども行う必要があり、予算編成の時期は自治会執行部にとって一番忙しい時期といえるでしょう。

【今後の活動について】

私たちは現在、サークル自治会の規約の大幅な改正を検討しています。現在のサークル自治会で定められている規約では上記の予算分配しかり、様々な事柄に対して対応しきれていない場合が多々あります。そのため、来年度からの施行を目標に規約の改正に取り組んでいます。



学生の活動紹介 ～学園祭実行委員会～

皆さんこんにちは！会津大学学園祭実行委員会です！

私達は会津大学の学園祭、「蒼翔祭」の企画、運営を目的とし日々活動に励んでおります。

ここで少し、今年の蒼翔祭についてお話をさせていただきます！

◎ 今年度の蒼翔祭の日程

今年度の蒼翔祭は、10月12日(土)と10月13日(日)に開催する運びとなっております。昨年度は11月の第一週という少し寒くなり始める時期に開催いたしましたが、今年度は少し暖かさの残る時期での開催となります！

◎ 最後に

コロナ禍を乗り越えてから3回目かつ、開学30周年という大きな節目の次となる今年度の蒼翔祭ですが、昨年度よりもさらに盛り上がる蒼翔祭を目指しております！例年通りサークル主体の企画やステージ発表、人気企画であった「ドローン体験会」や「大抽選会」、昨年度からの新たな試みである「蒼翔祭ハッカソン」など、多方面から盛り上げてまいります！当日は是非とも蒼翔祭へお越しください！



海外留学事業について

2022年度に再開された海外留学プログラムは、2023年度には、中期へ3名、短期へ15名が参加したほか1年間の長期に渡り留学した学生もいました。

今回は、短期プログラムに参加した学生の中から、3名の体験談をご紹介します。

短期留学: ワイカト大学 (ニュージーランド)

派遣期間: 3週間

若生 優希さん (派遣時: 学部3年)

私は、外国人に対するコミュニケーション不安を克服するために、この留学プログラムに参加しました。この目的を達成するために、ホストファミリーとの対話に重点を置き、朝から挨拶をし、夕食時にその日一日の出来事について話す習慣を心がけました。ホストファミリーは、私の言っていることが分からないときには、何度も聞き返してくれました。そのことでリスニングの向上だけでなく、理解しにくい表現も学びました。さらに、彼らはよく要望や意見を聞いてくれるので、英語で自分の意見を明確に表現する必要性を感じました。特に初心者は、意見を明確に表現しない限り、自分の意見を相手に伝えることが出来ません。この体験は、自分の意見をしっかり持ち、表現できることの大切さを教えてくれました。3週間という短い期間でしたが、授業と休日のバランスがとても良く、充実した時間を過ごすことが出来ました。



短期留学: ローズハルマン工科大学 (アメリカ インディアナ州)

派遣期間: 3週間

皆川 綺理さん (派遣時: 学部1年)

私が留学をした目的は、ネイティブスピーカーに自分の英語を試したかった事と、文化の違い、つまり考え方の違いを学ぶことにあった。

実際に留学してみて、自分の英語は想定していたよりひどいものであることが分かった。積極的に話しかけても聞き返されることが多く、会話が盛り上がっている途中で言い直したり、聞き返したりする度に、もどかしさを感じた。また、自分には全く同じにしか聞こえない単語が、まったく異なる意味を持つケースもあり、正確な発音を覚えることの重要性を感じた。これまでは発音に重きを置いて学習してこなかったため、今後の英語学習に取り入れようと思うようになった。

文化の違いにもいくつか興味深いことがあった。例として、アメリカ人は各々の人生哲学をランチ中でも議論するのだ。日本人はそのような話題は親友としか話せないし、親友ですらそんなことは話せないかもしれない。友人・知り合いとそのような深い話が出来ることが驚きだった。このことから、アメリカ人とは社会的、心理的なつながりを作ることは難しくないと感じた。

ローズハルマン工科大学のバディ制度のお陰で、滞在は素晴らしいものになった。バディは皆本当に心の温かい人々でたった3週間の滞在なのに、帰国するころにはひどく悲しい気持ちになり自分でも驚いた。今後も、彼らと連絡を取り合い交流を続けたい。おそらく、3週間では見えない彼らの生活の側面があり、自分がまだ達成できていない経験や洞察があるに違いないが、短期間で絆を深め、様々な気づきを得ることが出来た。何よりも楽しかった。一緒に留学したみんなも含め、感謝の気持ちでいっぱいだ。



短期留学: ローズハルマン工科大学 (アメリカ インディアナ州)

派遣期間: 3週間

中村 隼さん (派遣時: 学部1年)

現地の講義スタイルは、日本とは全く異なっています。少なくとも私たちが受けたCSSE120は、flipped classroom (反転授業)と呼ばれるスタイルでした。学生は授業の前にビデオを見たり、資料を読んだり、演習問題に取り組んだりします。その後、演習問題に取り組む、質問をします。最も大きな違いは、講師のMutchler博士が頻繁に質問を入れてくれることです。授業中の質問に対してそのようにオープンな講師を見たことがありませんでした。博士は、質問に対して、とても親切に理解できるまで説明を続けてくれました。



食文化もかなり異なります。まず、ローズハルマン工科大学内、シカゴオヘア、インディアナポリスの両国際空港では、水筒を持っていれば濾過水が無料で汲めます。第二に、大学内のほとんどの人が水筒を持ち歩いています。第三に、私が訪れたレストランでは無料でポテトチップスのようなつまみの提供があり、持ち帰り用の箱を提供してくれます。これらの経験は、私にとって、とても新鮮でした。

今回の留学体験により、英語力に自信を持つことが出来ただけでなく、勇気を持てるようになったと感じています。偶然居合わせた人に話しかけることが出来るようになっただけでなく、物事をポジティブな視点を持てるようになりました。今の私の短期目標は、今回できた友達に再会するために、再びアメリカを訪れることです。

2024年度 国内留学準備、海外留学プログラム【予定】

海外短期留学、国内留学準備	<ul style="list-style-type: none"> ・9月【4泊5日】海外留学準備のための英語体験プログラム：国内 ・9月【2・3週間】大連東軟信息学院 夏期短期留学プログラム：中国 ・2025年3月【3週間】ローズハルマン工科大学：米国 ・2025年3月【3週間】ワイカト大学：ニュージーランド
海外中期留学	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年9月～2025年2月【6か月】オストバイエルン・レーゲンスブルク応用科学大学：ドイツ ・2024年9月～2025年2月【6か月】カールスルーエ応用科学大学：ドイツ

大学の国際化について

会津大学では、第4期中期目標（2024-2029）において、「学生に提供する国際化に関するプログラム等の充実を図りながら、会津大学の国際競争力の向上と国際的に活躍できる人材の育成に取り組むとともに、外国人教員や留学生が県内で交流することにより、福島県の国際化、国際交流の拡大に貢献する。」ことを掲げ、さらなる大学の国際化を推進してまいります。

また、2009年1月に「会津大学国際戦略の指針」を制定して以来、教育、研究、地域貢献、及び、実施体制の4つの柱を全学的な戦略に基づいた国際交流の重点政策として着実に推進してきました。2024年2月21日に、社会的及び教育的な状況を考慮し、指針を改訂しましたのでお知らせいたします。

https://u-aizu.ac.jp/osip/files/page/intro/shishin_j.pdf

今後も学生が参加できる国際交流活動を支援し、国際交流・海外留学の推進に努めてまいります。

※企画推進本部 国際戦略室については、下記からご覧いただけます。

- 国際戦略室 ウェブサイト <https://u-aizu.ac.jp/osip/>
- プログラムに参加した学生のレポート <https://u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/>
- グローバルラウンジの活動について <https://u-aizu.ac.jp/osip/abroad/gl.html>
- 海外の協定大学との連携 <https://u-aizu.ac.jp/osip/school/index.html>

修学支援室より

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に先輩に相談・質問できる場です。支援室には本学卒業生が務める修学支援員及び大学院生・学部生によるアシスタント（TA・SA）が待機し、数学からコンピュータ系科目まで幅広く対応しており、一年生をはじめ、多くの在学生の皆さんも利用しています。パーティションで区切られた自習室も備えていて、様々な学生にあった形で利用できるようになっています。



◆ オンライン化への取り組み

修学支援室では学内外を問わず、どのような状況でも学業支援を行うために様々な検討を行いました。実際に行った取り組みとして、メールでの質問対応や授業で難しく感じたと学生の声の多かった内容についてweb上での解説等を開始しました。結果、支援室内外で学生さんのサポートを行うことに成功しています。今後も利用者の利便性向上のためこれらの取り組みについて継続する予定です。

◆ 履修相談

年々変わる授業内容、進級に関わる履修規程などにより学生にとって履修計画はより複雑で難しいものになっています。これにより自分の履修状況等を不安に感じる学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案なども行っています。また質問対応同様でメールでの相談も受け付けています。

◆ 試験期間中の対応・臨時開室

期末試験直前の勉強の追い込みをしたい学部生向けに日曜日に修学支援室を臨時で開室しテスト勉強のサポートを行いました。それに加え、臨時開室中もメールでの質問対応も行い、様々な学生さんに対応いたしました。

◆ 学内システム開発の支援

学内向けシステム開発のサポートも行っています。代表的なところでは学生の健康診断や就職相談の個別面談に用いられる予約システムの開発を担当させていただきました。

修学支援室（研究棟2階 246E）

● 電話：0242-37-2758 ● Email: ofls@u-aizu.ac.jp

<https://u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport/>

学生スタッフ紹介 学部4年 菅谷拓和さん



修学支援室SA歴1年目です。大学での経験を活かし、課題や試験といった来室者の質問に対応しています。質疑応答や交流を通して新たな発見もあり、大学生活に刺激を与えています。

保健室・学生相談室より

■ 保健室

阿部 さえ子 看護

研究棟1階（148）
0242-37-2517
nurse@u-aizu.ac.jp



「體」と「体」と「身体」
「體」は旧字体の“からだ”です。體は骨と音を表し、同時に連なる意を示す豊から成り骨のつながり、骨格・身体を意味します。「体」は人と音を表し、同時にそまつの意(笨)を示す本から成り、そまつを意味します。(出典:旺文社 漢和辞典 阿部吉雄編)
「身体」は心と体をあわせたその人の全人的状態を示す言葉です。
漢字は同じ読み方ですが、その意味することが違います。

■ 学生相談室

橘内 哲治 カウンセラー

研究棟2階（252）
0242-37-2610
counseling@u-aizu.ac.jp



人は思っているよりも強く、思っているよりはずっと弱い。
人とは、矛盾だらけの心の有り様なのかも知れません。
心での捉え方の習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わります。
一緒に話してみませんか。

就職支援室より

現在社会全体で急激なDX化が進んでおり、多くの業界でデジタル化に必要な人材を求めています。

会津大学はまさにIT人材の育成を目指している大学であり、学生自身の高い専門性と積極的な活動の成果が各業界から評価を受け、高い就職率につながっています。

就職支援室では、一人ひとりに進路個別面談を行い、進路を考える上でのサポートや直接話すことで関係性を築くことなどに注力しています。

就職活動では、答えを教えるのではなく、「考えるプロセス」を通じて、自分の価値を見出せるよう支援を行っています

◆ 対応できること（オンライン相談可）

- ◆ 進路・就職相談・インターンシップ など ◆ 面接対策、面接練習
- ◆ エントリーシート・履歴書添削・アドバイス ◆ その他 ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください

◆ 保護者の為の就活活動支援

後援会では、保護者のみなさま向けの就職支援サイトを開設しました。
また、あわせて保護者向けの就職支援セミナー動画を配信しています。

1. 就職支援サイト

URL: <https://career-book.jp/login>

2. 就職支援セミナー動画

URL:

[https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/sad/career/support association/seminar support association.pdf](https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/sad/career/support%20association/seminar%20support%20association.pdf)

ID、パスワードについては、学生の皆さまにお伝えしておりますので、ご確認ください。なお、ログイン方法等、不明点ございましたら事務局までお問い合わせください。



就職相談員の木戸相談員&瀬戸山相談員

就職支援室（学生ホール2階）

● 電話: 0242-37-2790

● Email: career@u-aizu.ac.jp



2023年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験（情報処理技術者試験、TOEIC）の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費についての補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

2023年度進路決定状況（2024年5月末現在）

◆ 就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	135	133
県内	15	15
県外	120	118
教員	1	1
公務員・団体等	3	3
起業・家業	0	0
合計	139	137
就職率	98.6%	

主な就職先（一部抜粋）

TOPPAN	楽天グループ
東京エレクトロン	福島コンピューターシステム
会津オリンパス	ソフトバンク
シグマ	NTT データグループ
アルプスアルパイン	デジタルガレージ
ソシオネクスト	DMM.com Group
信越半導体 白河工場	シンク
日本工営エナジーソリューションズ	リクルート
セイコーエプソン	福島中央テレビ
スズキ	RIZAPグループ
パナソニックオートモーティブシステムズ	NTT 東日本グループ
チームラボ	日本アドシス
SBテクノロジー	富士通Japan
ソフトクリエイティブホールディングス	ディレクターズ
大塚商会	東日本旅客鉄道
NECソリューションイノベータ	西日本旅客鉄道
クレスコ	ヨークベニマル
	アクセンチュア

◆ 進学状況

	進路希望	決定者数
本学大学院	45	45
他の大学院	5	5
海外の大学院	0	0
合計	50	50

2024年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2023年度決算及び2024年度事業計画・予算につきましては、2024年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました。

2023年度決算

1 収入科目	決算額(単位:円)
会費	14,657,540
雑収入	199
TOEIC テスト受験促進事業	1,007,860
戻入	7,150
繰越金	16,962,047
計(a)	32,634,796

2 支出科目	決算額(単位:円)
会議費	0
事業費	18,158,614
学生課外活動助成費	6,001,100
厚生及び進路対策費	6,554,014
研修等助成事業費	87,960
スキルアップ奨励事業費	1,910,370
TOEIC テスト受験促進事業	3,605,170
PCR 検査緊急補助事業	0
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	18,658,614
当期収支差額 (a)-(b)	13,976,182
次期繰り越し	13,976,182

2024年度事業計画

時期	事業概要	
2024年	4月	総会(書面協議)及び役員会(中止)
	4月～翌3月	クラス活動助成事業
	4月～翌3月	新入生クラスミーティング運営補助
	4月～翌3月	TOEIC テスト支援・受験促進事業
	4月～翌3月	就職活動交通費・宿泊費補助事業
	4月～翌3月	ボランティア活動費補助事業
	4月～翌3月	研修等助成事業
	4月～翌3月	スキルアップ奨励金事業
	4月～翌3月	保護者のための就職活動支援(ウェブ掲載)
	4月～7月 10月～翌1月	朝食定期券補助
	8月	後援会だより(第52号)発行
	10月	学生会・学園祭実行委員会への助成
	10月	役員会
2025年	3月	後援会だより(第53号)発行
	3月21日	役員会/卒業記念パーティー

2024年度予算

I 2024年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
会費	14,564
雑収入	1
TOEIC テスト受験促進事業	1,008
繰越金	13,977
計	29,550

2 支出科目	予算額(単位:千円)
会議費	0
事業費	18,622
学生課外活動助成費	6,001
厚生及び進路対策費	6,555
研修等助成事業費	550
スキルアップ奨励事業費	1,910
TOEIC テスト受験促進事業	3,606
記念事業積立金	500
予備費	10,428
計	29,550

II 2024年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
積立金	500
雑収入	1
繰越金	570
計	1,071

2 支出科目	予算額(単位:千円)
記念事業費	0
予備費	0
計	0

2024年度後援会役員

役職	役員	
名誉会長	束原 恒夫	
会長	小林 呂嘉	
副会長	五十嵐 敏之	白坂 光剛
監事	濱尾 忠弘	渡部 高夫
委員	上野 健一	松川 和芳
	小林 亜樹	大竹 智亜理
	本多 悟	佐藤 志津
常任委員	鶴見 宏幸	